

「ホワイト物流」推進運動 持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
秋田プライウッド株式会社	代表取締役社長	井上 篤博	秋田県	製造業	http://www.aplywood.co.jp

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	2019年6月10日
-------	------------

(取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号		取組項目	取組内容
1	A	①	物流改善提案と協力	・取引先や物流事業者から、荷待ち時間や運転者の手作業での荷卸しの削減、付帯作業の合理化等について要請があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に提案します。
2	A	⑤	幹線輸送部分と集荷配送部分の分離	・トラック運転者の拘束時間を短縮するため、物流事業者から幹線輸送部分と集荷配送部分の分離について相談があった場合は、真摯に協議に応じます。
3	A	⑥	集荷先や配送先の集約	・トラック運転者の拘束時間を短縮するため、物流事業者から集荷先や配送先の集約について相談があった場合は、真摯に協議に応じます。
4	A	⑧	出荷に合せた生産・荷造り等	・出荷時の順序や荷姿を想定した生産・荷造りを行い、荷待ち時間を短縮します。
5	A	⑪	高速道路の利用	・物流業者から、高速道路の利用と料金負担について相談があった場合は、真摯に協議に応じます。
6	B	③	燃料サーチャージの導入	・物流事業者から燃料サーチャージの導入について相談があった場合には、真摯に協議に応じます。
PR欄				・当社は「森林・林業再生プラン」で策定された「2025年までに日本の木材自給率50%以上」の目標に向けて、あらゆるところに(A)国産材 (K)合板(G)を利用する【AKG50作戦】を展開中です。また、原木の素材生産から国産材合板の製造まで一貫したビジネスモデルを目指し、計格的な植林や間伐を実施し持続可能な森林経営も実践しています。